

1. 件名：東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所特定原子力施設 多核種処理水貯槽（G6エリア）インサービス時におけるタンク損傷に関する面談について
2. 日時：令和元年10月18日 13時30分～14時00分
3. 場所：原子力規制庁2階打合せスペース
4. 出席者

原子力規制庁原子力規制部

検査グループ 専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、宮崎上席原子力専門検査官、米山主任原子力専門検査官、三澤原子力専門検査官、杉山原子力専門検査官

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

田上審査係

東京電力ホールディングス（株） 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 電気・機械設備グループ担当 2名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス（株）より、令和元年10月8日に発生した、福島第一原子力発電所における多核種処理水貯槽（G6エリア）へのインサービス時に発生したタンク天板損傷事象について説明を行いたい旨の申し出があり、面談を行った。

○東京電力ホールディングス（株）から資料に基づき以下の説明があった。

- ・事象概要及び損傷に至った原因について
- ・G6エリアタンク全数のベント部現場調査、天板の修理方法検討等今後の対応について
- ・今後インサービスを予定しているG6エリアタンクC群のベント部健全性確認について
- ・今後使用前検査を受検する予定のタンクにおけるベント部等の施工状況について

○原子力規制庁は、上記説明を受け、G6エリアタンク全数のベント部の現場調査、損傷した天板の修理方法の検討及び健全性確認を行った結果について、必要に応じ説明するよう求めた。

6. その他

資料

- ・G6エリアタンクインサービス時タンク損傷について